

ラジオ業界発展を目指して

謹啓 初秋の候、報道関係の皆さま方におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。平素は、ラジオメディアに対し多大なご理解とご支援を賜りありがとうございます。

さて、このほど、株式会社radikoと一般社団法人日本民間放送連盟ラジオ委員会は、リスナー拡大によるラジオ業界発展を目指し、新たなラジオ番組の聴取スタイル『タイムフリー聴取機能』と新しい聴取文化『シェアラジオ』の実証実験を開始する運びとなりました。

(株)radikoは、さらなるラジオメディアの価値向上とラジオ番組コンテンツとの接触機会の拡大を目的に、過去1週間に限り、いつでも後から番組を聴取できる『タイムフリー聴取機能』を開発してまいりました。

一方、民放連ラジオ委員会は、リスナーの拡大、特に若年層にラジオをアピールするにあたり、“一人で楽しむラジオ”から“友人と共有しながら楽しむ『シェアラジオ』”を提唱してまいりました。その実現には、『タイムフリー聴取機能』が不可欠なことから、両者はラジオ業界のさらなる発展を目指して、新機能の実現に向け力を合わせてまいりました。

そして、今回、これらの新しい機能を報道関係の皆さま方に発表、ご案内させていただく準備が整いました。

ラジオ業界のメディア価値向上のための私どもの取り組みにつきまして、ご理解とご鞭撻を賜りますよう、引き続き宜しくお願い申し上げます。

最後に、ラジオ番組は数多くのコンテンツで構成されております。新たな機能はそうした数多くの権利者の皆さま方からのご理解とご協力、そして多大なご支援があつて、はじめて実現することができるようになりました。今回、こうして新たな機能の開始をご報告するとともに、権利者の皆さま方には改めて衷心より感謝申し上げます。

敬具

2016年9月26日

株式会社 radiko
一般社団法人日本民間放送連盟ラジオ委員会

さらなるラジオメディアの価値向上とラジオ番組コンテンツの接触機会拡大へ

1. (株)radikoは新たなラジオ番組の聴取スタイル『タイムフリー聴取機能』(無料)を搭載
10月11日(火)お昼12時頃から実証実験を開始
2. 民放連ラジオ委員会はその機能を活用した新たな聴取文化『シェアラジオ』を推進
シェアラジオ特別番組『サントリー天然水presents宇多田ヒカルのファントム・アワー』を
全国のラジオ局で放送

株式会社radiko(代表取締役社長:岩井淳)と一般社団法人日本民間放送連盟ラジオ委員会(委員長:入江清彦・TBSラジオ社長)は、リスナー拡大によるラジオ業界発展を目指して、新たなラジオ番組の聴取スタイル『タイムフリー聴取機能』と新しい聴取文化『シェアラジオ』の実現、普及推進で協力し、以下のことを展開します。

1. (株)radiko は、「radiko.jp」(ラジコ)の『タイムフリー聴取機能』『シェアラジオ』の実証実験を開始

(株)radikoは、2016年10月11日(火)から、さらなるラジオメディアの価値向上とラジオ番組コンテンツの接触機会拡大を目的に、新たなラジオ番組の聴取スタイル『タイムフリー聴取機能』(無料)の実証実験を開始します。新機能は、過去1週間に限り、いつでも後から番組の聴取を可能にするものです。すでにラジコでラジオをお楽しみいただいているラジオリスナーには、うっかり聞き逃してしまった番組、時間が合わなくて聴けなかった番組を、また日頃ラジオに馴染みのないラジオノンリスナーには、番組放送後にさまざまなメディア(ネットニュースやSNSなど)で話題となったラジオ番組を過去1週間に限り、後から聴ける機能を提供することでラジオに触れる機会を醸成します。

また、民放連ラジオ委員会が提唱する新たなラジオ聴取文化『シェアラジオ』を実現し、お気に入りの番組をその場ですぐに友人と共有できるようにします。新しい番組聴取画面に設置する「シェア」というボタンを押せば、自分がお気に入りの番組、さらには友人が気に入りそうな番組を、ソーシャルメディアを通じて、お知らせ・共有が可能です。

実証実験として開始するのは、利用者数の把握、利用者数に伴うシステム構築規模の把握(サーバの負荷など)、また、ラジオ番組を構成するコンテンツがどのように利用されるのか、どのように広がっていくのかなど、今後、予想される課題を抽出し、どのように解決していけば本番運用に移行できるのかなどを検証する期間と位置付けてのことです。

2. 民放連ラジオ委員会は、『シェアラジオ』の普及推進活動として特別番組を放送

民放連ラジオ委員会は、『シェアラジオ』のブームアップ施策として、シェアラジオ特別番組『サントリー天然水presents 宇多田ヒカルのファントム・アワー』を全国のラジオ局で放送します。放送日は10月11日(火)～10月17日(月)の期間で、約1時間の番組です。この特別番組を通し、多くの方々に「シェアラジオ」体験を促し、一人でも多くの方々に番組を聴取してもらおうというものです。

「今後、ラジオが例えば、番組が放送されたあと一定期間ストリーミングでネットで聴けるとか(中略)そういうようなポジティブな変化が今後どんどん進んでいくといいなと思っています。ラジオと現代の生活スタイルとか、他のメディアをこう全部繋げるような変化があるといいな。」

約2年半前。宇多田ヒカルが最後にラジオ出演したレギュラーラジオ番組最終回で、このようなコメントを残しました。今回の特別番組は、我々からのアンサーとしての狙いもあります。「ポジティブに変化したラジオ」を通じ、生の声を多くの皆様に届けることができればと思います。

<タイムフリー聴取機能・シェアラジオと特別番組の概要>

■『タイムフリー聴取機能』

『タイムフリー聴取機能』は、(株)radikoが開発したラジオの新機能で、「ラジオ番組放送後、過去1週間に限り、いつでも後からお好みの番組を聴取できること。時間の概念にとらわれることなく、聴きたいラジオ番組をいつでも楽しむことができること」と定義しています。当機能は無料・非登録制です。これまでラジオに馴染みのないラジオリスナーを獲得することを目的のひとつとしているため、誰にでもすぐに使えることを最優先に考えてのことです。

いち番組ごとに聴取可能時間(3時間)があります。この聴取可能時間(3時間)とは、あるひとつの番組を選んで、その番組を再生した段階(再生ボタンを押した瞬間)から、3時間が経過するまでの間、聴取することができるということです。例えば、12時に再生ボタンを押したと仮定すると、その番組は15時まで聴くことができるという仕組みです。これは、この度の実証実験は日本初の試みとなることから、この範囲内にて各方面の権利者にご理解とご協力とご支援を頂戴していることから設定しております。詳細はラジオのHPに掲載します。

※『タイムフリー聴取機能』は、特定のタレント出演番組やスポーツ中継など権利上の問題で、一部聴取できない番組があります。また、各放送局の編成判断によって当該番組の配信を停止する場合があります。

■『シェアラジオ』

『シェアラジオ』は、新規のラジオリスナー拡大のため、民放連ラジオ委員会が提唱している新たなラジオ聴取文化で、『タイムフリー聴取機能』を活用して、お気に入りの番組をお友達にソーシャルメディアを通じてお知らせ、共有することができるものです。

■シェアラジオ特別番組『サントリー天然水 presents 宇多田ヒカルファントム・アワー』

放送日時：2016年10月11日(火)正午から10月17日(月)まで

各放送局の放送日・時間は、本番組HPであるシェアラジオ特設サイトに掲載

放送局：民放連加盟ラジオ101局

制作：民放連ラジオ委員会

出演者：宇多田ヒカル

番組時間：約1時間

番組HP：シェアラジオ特設サイト <http://shareradio.jp>

※ラジオに参加していない放送局では、番組名や内容の一部を変更して放送します。

『ラジコ』について

IPサイマルラジオ『ラジコ』(無料/非登録制/エリア内聴取)は、「難聴取エリアの解消」「ラジオの聴取機会の拡大」「若年層の掘り起こし」等のラジオのメディア価値向上を目的に、2010年3月15日実用化試験配信を開始。同年12月1日の会社設立(株radiko)とともに本配信を開始。

現在、81の民放ラジオ放送局と放送大学が参加しています。



月間ユニークユーザー数: 約1,200万人/月

デイリー平均ユニークユーザー数: 約100万人/日

ラジコプレミアム(有料/登録制/エリアフリー聴取)登録会員数: 約30万人

※2016年8月現在

※ラジコプレミアムは2014年4月1日開始